

米国道路事情実態調査報告

大野 聡 (調査部調査役)

はじめに

今回、ITS に関して従来より率先してその導入に取り組んできた米国の道路事情、交通施策等について、国土交通省道路局主催の調査に参加する機会をいただき、平成 16 年 12 月 1 日 (水) から 10 日 (金) までの間、ニューヨーク、ワシントン D.C.、サンフランシスコ、ロサンゼルス各都市を中心に、政府機関、高速道路の管理会社、大学の研究機関等の訪問と、関連する実地調査等を行ってきましたので、その一部を簡単に報告させていただきます

ETC について

米国では、日本に先行して ETC が運用されていますが、全米で統一されたものではなく、地域により個別のシステムが導入されています。今回はそのうち、東海岸の北部地域において運用されている「E-ZPass」と、カリフォルニア州において運用されている「FasTrak」について、それぞれ現地で調査を行いました。

【E-ZPass】

E-ZPass は、東海岸北部地域の 11 州 21 の道路公社等で形成されている

グループにより運用され、タグと呼ばれる簡易な車載器により、料金徴収が行われます。利用するには、個人利用の乗用車の場合には、タグの保証金 10 ドル (クレジットカードによる登録者は必要なし)、料金の前払い 25 ドル、毎月の会費 1 ドルが必要となりますが、タグの保証金は解約時に返金されます。E-ZPass のホームページ、電話、FAX 等により申込みができ、カスタマーサービスセンターで申込みが受理されると、折り返しタグが送付されてきます。これを利用者自ら自動車のフロントガラスにマジックテープ等で貼りつければ、利用できるようになります。

今回訪問したニュージャージー・ター



E-ZPass のタグ設置状況①



E-ZPass のタグ設置状況②



NJTP 18W インターチェンジの EXPRESS E-ZPass

ンパイク (以下、「NJTP」といいます) は、ニュージャージー州を南北に縦断する有料道路で、1998 年に初めて E-ZPass を導入し、2003 年までに、全体 341 レーンのうち 152 レーンに E-ZPass が整備されています。現在、NJTP 利用者のうち約 2 / 3 が E-ZPass を利用しており、将来的には、利用率が 80% になると予想されています。

料金所通過の際は、時速 15 マイル (時速約 24 キロ) まで速度を落とす必要があり、速度超過で通過した利用者に対しては、その回数により E-ZPass の利用停止という措置を取っています。NJTP では、2004 年 1 月、新たに 18W (インターチェンジ名) において、従来の料金所を通過せずに、本線上に設置したゲートを通することで料金徴収することができる「EXPRESS E-ZPass」という高速の ETC 専用レーンを、1 箇所設置しました。

EXPRESS E-ZPass 車線は、時速

55 マイル (時速約 88 キロ) で通過することが可能であり、導入により同料金所での渋滞が緩和されたということです。利用者からも好評で、本インターチェンジでは E-ZPass 利用者のうち、95% が EXPRESS E-ZPass 車線を利用しています。NJTP では、このような高速の ETC 専用レーンを今後新たに 3 箇所を設置する予定とのことです。

また、この地域で E-ZPass を導入している有料道路や橋においては、現金による利用者に対しては、E-ZPass 利用者を料金により優遇する措置を取っています。NJTP においても、E-ZPass 利用者に対しては、時間帯に応じて割引を行っています。その他ニューヨーク近郊の国際空港に併設された駐車場料金の支払いにおいて、E-ZPass



FasTrak のタグ

の利用が可能であるなど、道路通料金徴収以外の利用も進められています。

【FasTrak】

西海岸のカリフォルニア州においては、「FasTrak」というタグを用いた料金徴収が行われています。利用するには、タグの保証金として 30 ドル (クレジット

カードによる登録者は必要なし)、料金の前払い(現金による登録の場合は45ドル、クレジットカードによる登録の場合は30ドル)が必要となります。この他に月の利用料金が25ドル以下の場合には、維持費として1ドルの手数料が必要となります(利用者の約60%が該当しています)。

FasTrakの申込みは、E-ZPass同様にホームページ、電話、FAX等により行うことができ、こちらも送られてきたタグを自分で取り付けることにより利用が可能になります。今回調査を行ったSR91(ステートルート91号線)は、ディズニーランドのあるアナハイムの東側に位置しており、現在は地元オレンジ郡のOCTA(Orange County Transportation Agency)が管理運営してい

ます。SR91には、通行時間帯により料金が変化する有料の「Express Lane(高速レーン)」があり、FasTrakによる支払いのみ通行が可能となっています。高速レーンと一般レーンは、車線移動禁止の黄色線等により区分されており、事前にFasTrakの登録をしないで高速レーンを通行し、ハイウェイパトロールに捕まると、271ドルの罰金及び29ドルの教習費(合計で300ドルになります)並びに運転免許の減点が科せられるということであり、不正通行に対してはかなり厳しい対応が取られています。

また、オレンジ郡にあるTCA(Transportation Corridor Agencies)が料金を徴収している3本の有料道路においてもFasTrakが導入され、2004年現在で、52万台のタグが発行されており、

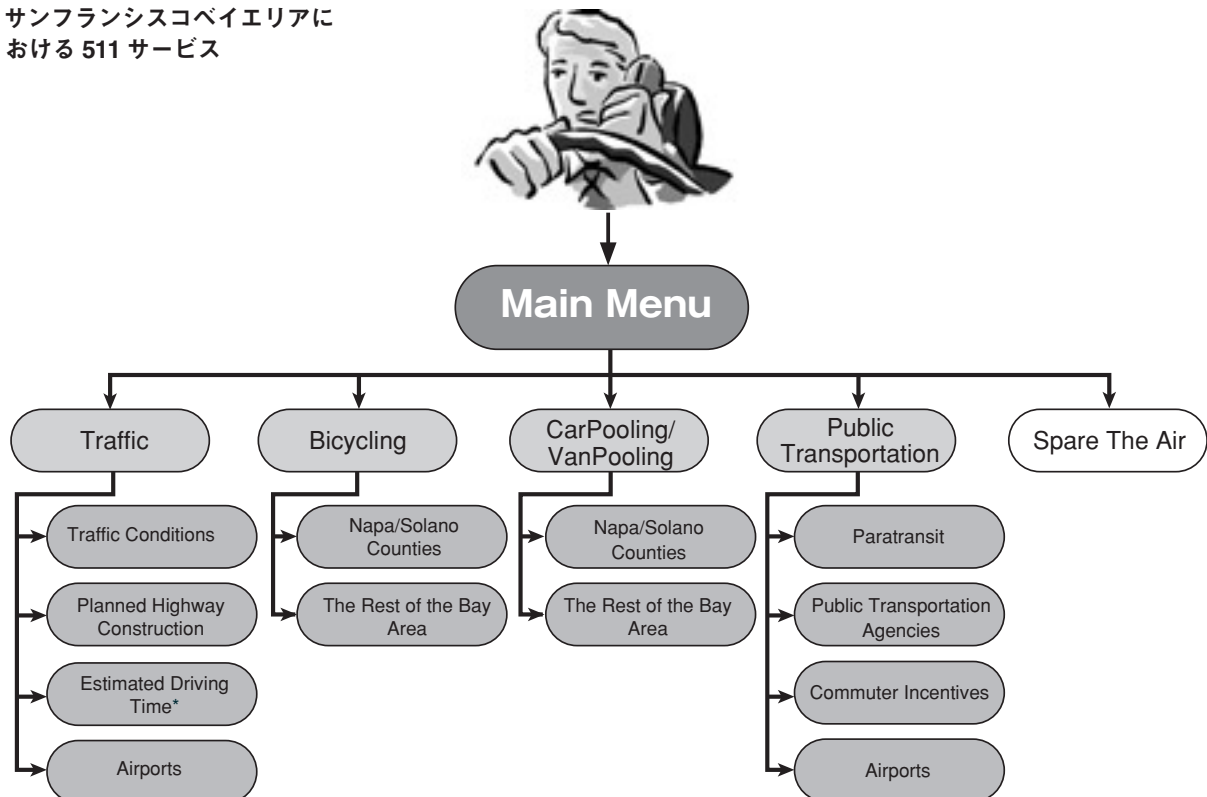
料金収入のうち、FasTrakによるものが68%を占めています(2002.7.1～2003.6.31)。

この他、FasTrakは、サンフランシスコ湾周辺のバイエリアに架かる橋の通行料金徴収にも導入されており、例えばゴールデンゲートブリッジのように、現金による利用者の通行料金が5ドルであるのに対して、FasTrakによる利用者に対しては4ドルになる等の割引制度を設けている場所もあります。

511 移動者情報サービスについて

米国では、「511」を移動者に向けた情報提供のための専用の電話番号として、全米各地域においてサービスの展開を

●図1. サンフランシスコベイエリアにおける511サービス



進めています。今回訪問したサンフランシスコ湾周辺のベイエリアでは、MTC (Metropolitan Transportation Commission)、California Highway Patrol 及び Caltrans(California Department of Transportation)により511サービスが運営されており、①公共輸送情報、②道路交通情報、③自転車利用に関する情報、④自動車相乗りに関する情報——を提供しています(図1)。

利用者は、511に電話をかければ、これらの最新情報を無料で得ることができます。電話による問合せは、プッシュ式の応答の他、音声による応答にも対応しており、こちらについては同地域に様々な人種の方がいることから、ネイティブの発音以外の英語にも対応できるように工夫しているとのこと。また、今後はスペイン語にも対応できるように準備を進めているとのことでした。電話のコール件数は、事故の発生や気象状況により大きく増加する場合があります、それにも対応できる電話回線数を確保し、利用者が利用したい時にいつでも情報を得ることができるように対策を講じているとのこと。

HOV (High Occupancy Vehicle) レーンについて

アメリカでも、朝夕のラッシュ時を中心として、都市近郊ではかなりの渋滞が発生していることから、バス等の公共交通機関や一定以上の乗員がある自動車だ



HOV レーンの様子

けが通行できるレーンを設定し、自動車への複数名乗車を推進することにより、交通渋滞の緩和を図ろうとしています。今回の調査期間中も、何回かこのHOVレーンを通行する機会があり、一般の車線は渋滞している中で、HOVレーンは空いているという状況が見受けられました。

おわりに

今回、自動車先進国の米国において、ETCを始めとして、ITSを活用した道路交通への取組み等の状況を見ることができました。米国は、次期長期運輸予算において、ITS技術の実導入を加速しようとしています。米国は国土も広く、ま

た各地域における自治も強いことから、連邦政府として統一の施策を取ることにについては、なかなか苦労があるように感じられましたが、今回訪問した各地域において、ITSの推進を図っている状況を調査することができました。

一方、我が国においても、ITSはセカンドステージに突入し、今後更なる利活用が期待されています。こうした中、今回このような機会を得て、米国におけるITSの推進状況等を調査できたことは大変有意義なものとなりました。また、今回の調査に参加されたITS等に携わる専門家の皆様からは、調査期間中、たくさんのお話を伺う機会にも恵まれました。この場を借りてお礼申し上げます。(おおの・さとし)